

スノーボードアルペン男子日本代表として、ワールドカップ（W杯）などの国際大会に参戦している斯波正樹（ジャパンファクトリー・山形南高出）が今季のレースを終え、帰国した。W杯では、初戦（昨年10月、オランダ）

のパラレル回転でマークした11位と、総合ランキング30位は、ともに日本男子の最高成績。来季のW杯出場枠も獲得するなど躍進したシーズンを振り返ってもらい、今後の課題や抱負などを聞いた。以下は一问一答。

スノボ・アルペンW杯

## 斯波(山形南出) レース終え帰国

—W杯ではレースの順位、総合ランキングともに日本人男子の最高成績を塗り替えた。

板に力をかけるタイミングをつかみ、ターンが良くなった。初戦の回転で11位に入り、目指している滑りに近づいていると思った。第2戦以降、新しい板をうまく乗りこなせず予選落ちや失格が

### 日本男子最高30位



今季を振り返り、来季の抱負などを語る斯波正樹（山形市内）

# ソチ五輪へ判断力磨く

続いた。シーズンを通して好不調の波があったのは反省点だ。

—ソチ五輪（2014年）への手心えは。

—昨年バンクーバー五輪はぎりぎりのところで代表落ちした。今季はレ

—ス前の公開練習で世界トップレベルの選手らに技術を磨くことも

と同じくらいタイムを出したこともあり、技術的に大きな差はないと自信を持った。次（の五輪）はいけると確信し

ちろんだが、実力を最大何十本と試しており、来季は万全の状態です。どの大会でも16人による決勝に進み、安定した成績を残す。

—世界の上位で戦った

—来季への抱負を聞か

W杯出場も決まったので、夏場は個人的に強豪の欧州チームの練習

めには何が必要か。判断力が足りない。また板については、さまざまなメーカーの製品をした